

学区自主防災会 2009 年度第 4 回役員会（2009.09.25）報告

1．報告事項（久保田事務局長）

- 1）9 月 6 日の学区総合防災訓練が約 200 名参加して行なわれた。
- 2）自治会館の非常用電気配線のテストを行った。防災用発電機から自治会館内の照明とコンセントに電気を供給できる。炊事室の壁のスイッチ 2 つのうち、左を上にあげれば照明がつき、右を入れれば室内の黒のコンセントに通電する。

2．9 月 6 日の学区総合防災訓練の反省と来年度の課題

三丁目自主防災部で論議された反省点と次年度へ向けての改善点 8 項目が説明された。主要なものは以下の通りである。

- 1）災害発生即避難という訓練パターンが固定化しつつあるが、“組単位での安否確認、火災確認”という訓練も入れるべきである。
- 2）消防ポンプ倉庫の鍵は緊急性の高さを考えて、現在自治会館内にある鍵を複製して、一丁目自治会長、一丁目自主防災会会長、自治会館内、近くの井隼さんが持つことにする。防災備蓄コンテナの鍵は従来通り自治会館内にのみ置く。
- 3）総合防災訓練の時期を気候の良い時期に設定する。
- 4）1 グループの人数が多すぎたとの指摘もあるが、グループの数と人数については今後検討する。各町内である程度の訓練を行なう方式はどうか、との意見も出た。

3．学区自主防災会の組織体制と今後の進め方について

二丁目 1 区、二丁目 2 区は未だ部員を選出できていない。福祉避難所の関係でリストアップされている大塚比叡山荘と N P O 法人比叡平・陽だまりの会に対しては契約書を交わすことになった。

4．初動支所班と学区自主防災会との懇談会（9 月 27 日）の内容について話し合った。

5．大津市への「防災要望書」の提出と「総合防災課と学区自主防災会の懇談会」の申し入れについて説明があり、この内容で要望書を提出することとなった。

以上（文責：笈田）